

マイ・タイムラインを作ってみよう！

P5.6の作成例を
参考にしてみよう！

台風が発生してから河川が氾濫するまでの、自分がとるべき行動を書き出してみましょう。

※情報が発信されるタイミングは例であり、必ずしも下記のとおりには限りません。

※河川の写真はイメージです。

※緊急安全確保は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。



作成年月日

年 月 日

氾濫までの時間	行政からの情報 ・ 行政の動き	想定される気象 ・ 河川の状況	マイ・タイムライン	ポイント
3日前	台風予報（早期注意情報） 警戒レベル1相当 大雨注意報・洪水注意報	台風が発生 台風が近づくにつれ、 雨が降り始める。 だんだん雨が強くなる。		非常用持出品の例 <input type="checkbox"/> 食料・飲料水 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 薬、お薬手帳 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ヘッドライト <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> その他、自分に必要なもの
2日前	警戒レベル2相当 大雨警報・洪水警報 	雨がさらに強くなり、 河川の水位も上昇し始める。 		
1日前				情報の入手先 気象情報 避難情報 河川の状況
半日前	水防団が待機 水防団が出勤	河川の水位が 水防団待機水位に到達 河川の水位が 氾濫注意水位に到達 		避難について 避難の方法 避難する場所 避難先までの所要時間
4時間前	警戒レベル3 高齢者等避難 発令 ・緊急速報メール（エリアメール） ・避難対象地区に防災行政無線によるモーターサイレン吹鳴	河川の水位が 避難判断水位に到達 		逃げ遅れないこと！ 過去の水害において、避難情報が発令されているにもかかわらず、自宅に留まり、避難できなくなった方々がいました。命を守るために重要なことは、 逃げ遅れないこと です。 今までの台風で避難の必要がなかったから、 今回も大丈夫とは限りません 。避難できない状況になる前に避難しましょう。
2時間前	警戒レベル4 避難指示 発令 ・緊急速報メール（エリアメール） ・避難対象地区に防災行政無線によるモーターサイレン吹鳴	河川の水位が 氾濫危険水位に到達 		命の危険 直ちに安全確保！ 避難が遅れたことにより、外に避難することが危険な場合、 垂直避難（上階への避難） を含め、 直ちに身の安全を確保 する行動をしましょう。
0時間前	警戒レベル5 緊急安全確保 発令 ・緊急速報メール（エリアメール） ・避難対象地区に防災行政無線によるモーターサイレン吹鳴	氾濫が発生 	【逃げ遅れた場合】 命を守る最善の行動	